九頭竜川橋床版取替工事
（福井県福井市）

第69期
FPS REPORT

2020.4.1–2020.9.30

証券コード：1848
株式会社富士ピー・エス

新たな市場開拓のための経営リソースの拡充を

代表取締役社長
堤　忠彦

株主並びに投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめとした感染拡大の防止にご尽力されている皆様には深く敬意を表し感謝申し上げます。

さて、当建設業界は、東京オリンピック・パラリンピック関連のプロジェクトが完了した後、土木ではリニア中央新幹線や北陸・北海道整備新幹線などの継続プロジェクト、建築ではIR（大型統合リゾート）や大阪万博関連、そして都市圏のマンション建設などを中心とした工事が本格化すると予想されます。

また、社会インフラや集合住宅などの老朽化に伴う維持更新事業が本格化して新たな市場構造への転換が進み、需要が中長期的に継続することで建設投資は底固く推移するとみています。一方、新型コロナウイルスの影響は、現時点では顕著ではないものの、予断を許せない状況であり、今後もその推移に注視していく必要があると考えています。

このような状況のもと、当社グループは引き続き第4次中期経営計画「VISION2016」で掲げた成長目標の早期達成と、次なるステージへのステップアップに向けた、新たな市場開拓のための経営リソース（人材、技術、財務）の拡充に取り組みながら企業活動を行ってまいります。

この中では、建設現場の「働き方改革と生産性向上の実現」に有効とされるプレキャスト化の需要の高まりに対応するために、工場の自動化・省人化の推進や、現場施工の合理化を実現する施工機械の開発など、集中的な設備投資による生産体制の充実を図ってまいります。また、人材面につきましても、外国人や女性技術者など多様な人材の新規採用や、研修・教育制度の充実による丁寧なアフターケアなど、魅力ある職場づくりを通して総合的な組織力の向上を図ってまいります。

その他、ミャンマー連邦共和国を中心とした海外市場への挑戦など、安定した経営基盤の拡大に努めながら、「生活・防災・環境」の3分野を中心とした長期的な市場環境におけるニーズを捉えたPC技術の展開を図り、土木と建築を事業の両輪として持続的な成長を実現してまいります。

今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

VISION2016

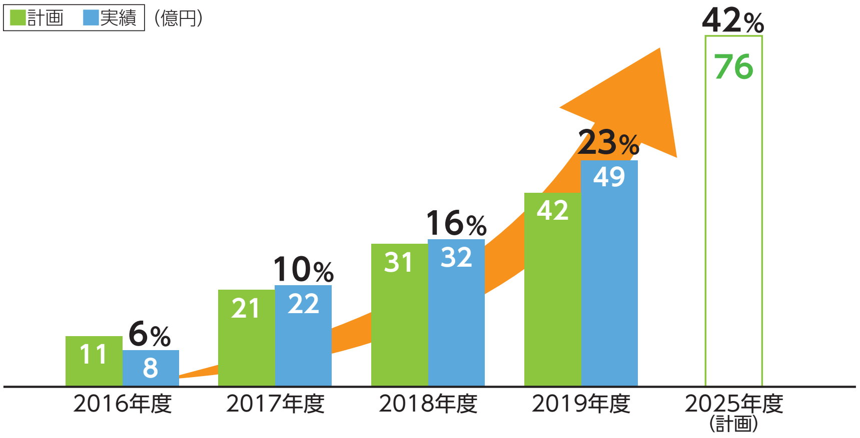
● 長期的な市場環境の変化をとらえ、PC技術の特性を核とした技術開発と事業の多様化で持続的な成長を実現する。

重点施策

維持更新事業への本格参入

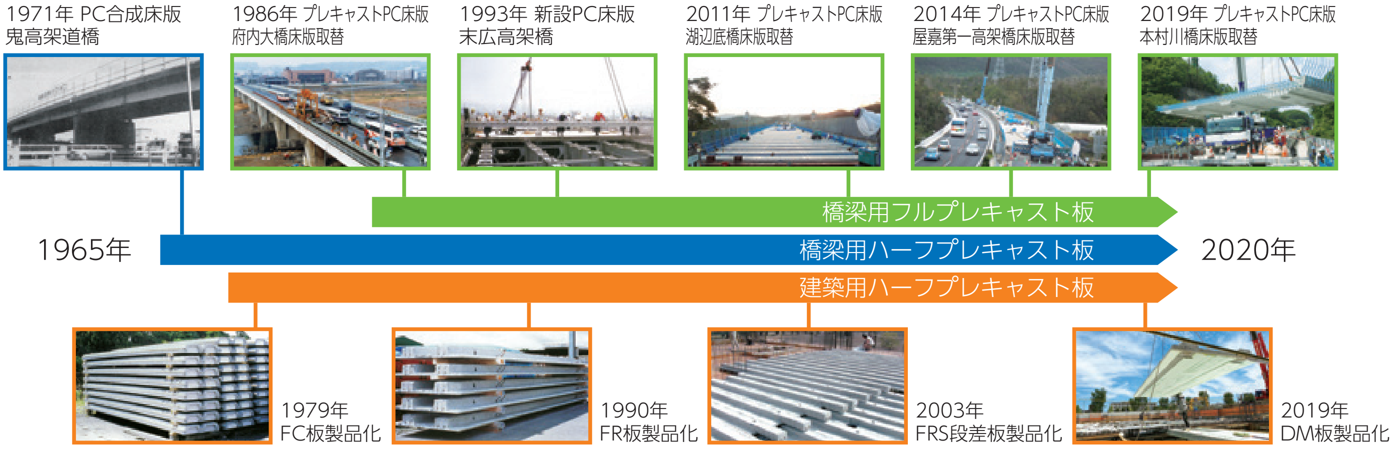
◇土木の維持更新売上比率を2025年までに42%に拡大

※対土木売上比率



● プレキャストＰＣ床版のパイオニア

高速道路の大規模更新での床版取替に用いられるプレキャストPC床版は、当社が1965年代から開発していたプレキャストPC板の延長上に位置する技術です。今後も生産性向上に資するため、積極的に技術開発に取り組んでまいります。



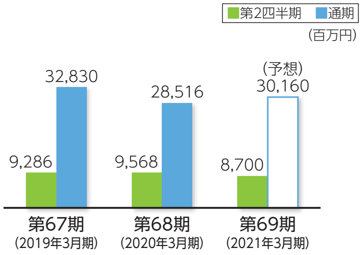
財務ハイライト

当中間期の概況

当第２四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は8,700百万円（前年同四半期比9.1％減）、売上高は13,977百万円（前年同四半期比2.1％増）となりました。損益につきましては、売上高の増加と売上原価率の改善により、営業利益は845百万円（前年同四半期比158.4％増）、経常利益は822百万円（前年同四半期比159.0％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は573百万円（前年同四半期比168.3％増）となりました。

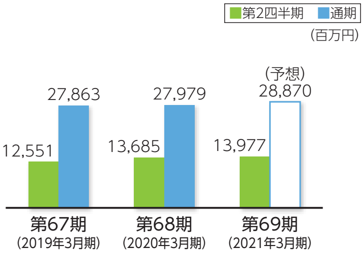
受注高

8,700 百万円



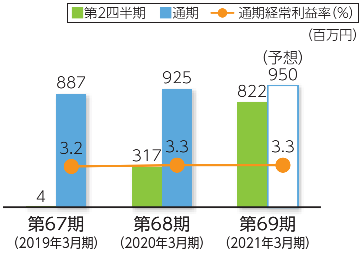
売上高

13,977 百万円



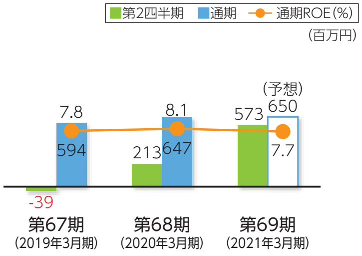
経常利益・経常利益率

822 百万円



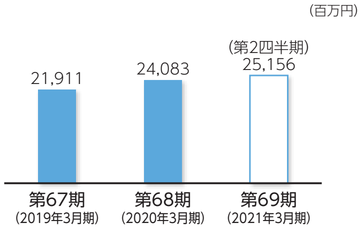
親会社株主に帰属する当期純利益・自己資本利益率(ROE)

573 百万円



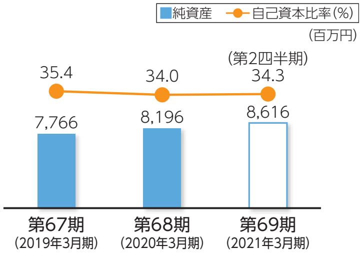
総資産

25,156 百万円



純資産・自己資本比率

8,616 百万円



決算情報

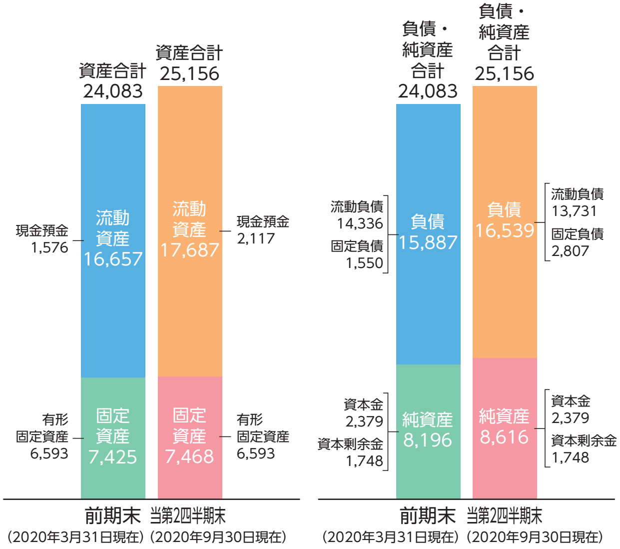
連結損益計算書の概要

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（累計）(2020年4月 1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期（累計）(2019年4月 1日から 2019年9月30日まで)	増減率（%）
売上高	13,977	13,685	2.1
売上原価	11,761	11,977	△1.8
売上総利益	2,215	1,707	29.8
販売費及び一般管理費	1,370	1,380	△0.7
営業利益	845	327	158.4
経常利益	822	317	159.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	573	213	168.3

連結貸借対照表の概要

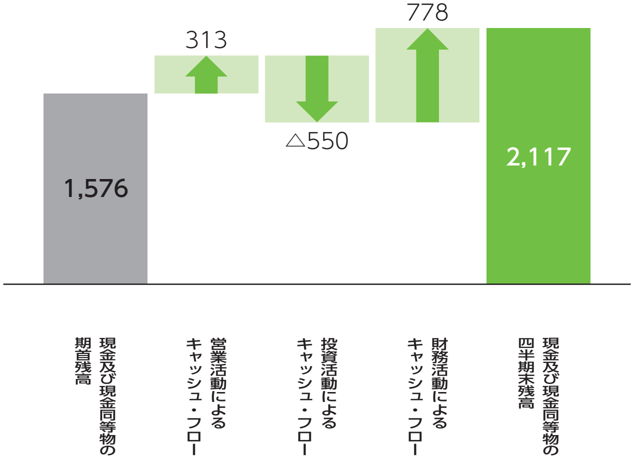
（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）

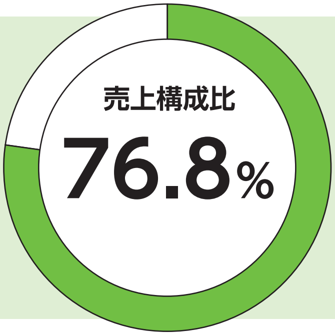
当第２四半期連結累計期間（2020年４月１日から2020年９月30日まで）



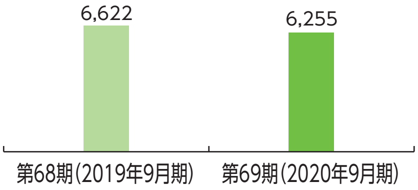
セグメント情報

土木事業

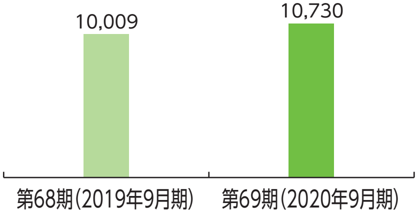
受注高	6,255百万円	前年同四半期比	5.5%減
売上高	10,730百万円	前年同四半期比	7.2%増
セグメント利益（売上総利益）	1,733百万円	前年同四半期比	39.8%増



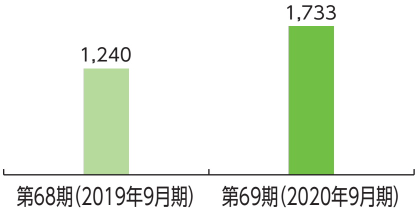
受注高　（単位：百万円）



売上高　（単位：百万円）



セグメント利益　（単位：百万円）



土木事業の紹介　上宮地川橋他1橋（PC上部工）工事（岡山県）

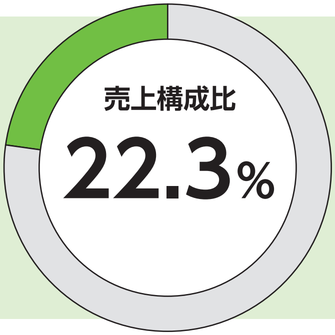
中国横断自動車道岡山米子線の暫定2車線区間において、交通事故等に対する安全性の向上及び災害時のリダンダンシーの確保を目的として、全線4車線化事業が進められています。

当社は、橋長154mの宮地川橋（PRC3径間ラーメン箱桁橋）と橋長159mの上宮地川橋（PRC5径間連続2主版桁橋）の2橋を施工しています。

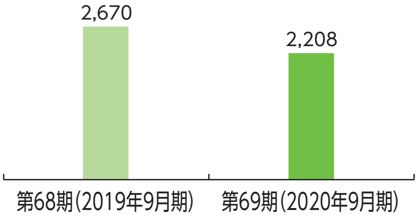
架橋位置は山岳地帯にあり、宮地川橋は張出架設工法、上宮地川橋は固定式支保工を採用して、早期開通を目指し、隣接する供用線に細心の注意を払いながら施工しています。

建築事業

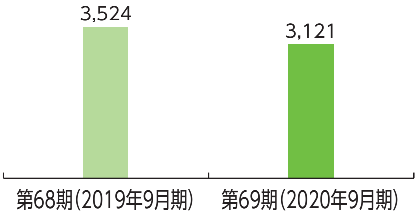
受注高	2,208百万円	前年同四半期比	17.3%減
売上高	3,121百万円	前年同四半期比	11.4%減
セグメント利益（売上総利益）	411百万円	前年同四半期比	5.7%増



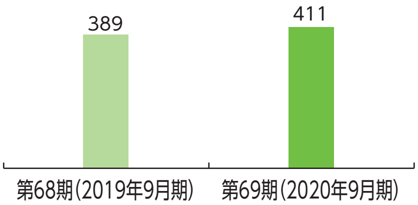
受注高 （単位：百万円）



売上高 （単位：百万円）



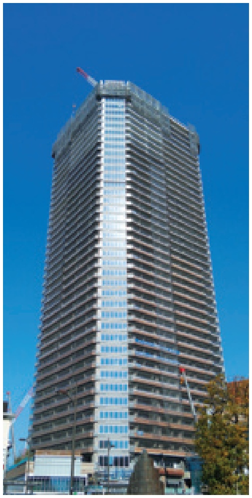
セグメント利益 （単位：百万円）



建築事業の紹介　品質と経済性に優れた建築製品を生み出す

　主要都市部における都市再生開発事業の超高層マンションに採用されている当社開発のプレストレスト・コンクリート床板（FR板）は堅調に顧客を確保し、実績を増やしています。また、鋼板ダンパを用いた耐震補強工法のスマイルダンパフレームは、主に集合住宅を対象に営業活動を行い、受注拡大を目指しています。

※スマイルダンパフレームは、地震発生時に、鋼板ダンパが地震エネルギーを吸収するように設計された外付けの制震補強工法です。



DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に向けて

DXとは、「データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務や組織、プロセス、企業文化を変革し、競争上の優位性を確立する（経済産業省）」取り組みをいいます。

特に新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、あらゆる場面で非接触型のニーズが高まり、人々の消費行動が変化したことで、様々な分野でDXによる製品やサービスの導入が加速しています。

そのような中、当社におきましても新型コロナウイルス感染症の防止対策と併せて、非接触化が可能な業務の電子化やデジタル技術を用いた業務効率化を推進しており、更なる生産性の向上に取り組んでいます。

現場打合せ資料の電子化の実施例

実施前

実施後

令和元年度土木学会田中賞（作品部門）を受賞

当社が施工した「菰野第二高架橋」（三重県）が、令和元年度土木学会田中賞を受賞しました。

土木学会田中賞は、橋梁及びそれに類する構造物の新設または改築で、計画・設計・製作・施工・維持管理などの面において特色を有する作品に対して贈られます。

工 事 名：新名神高速道路　菰野第二高架橋他3橋（PC上部工）工事
発 注 者：NEXCO中日本　名古屋支社
施 工 者：ピーエス三菱・富士ピー・エス特定建設工事共同企業体
施工場所：三重県三重郡菰野町
竣　　工：2019年2月
構造形式：PRC5径間連続箱桁橋＋PRC3径間連続エクストラドーズド橋＋
PRC11径間連続箱桁橋
PC斜材付π型ラーメン箱桁橋
PRC方杖箱桁橋
PRC2主版桁斜材付π型ラーメン橋

TANAKA AWARD

株主優待制度のご案内

中長期保有の促進を目的とした株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として、オリジナルQUOカードを贈呈し充実を図っております。

株主優待の内容

保有株式数と保有年数に応じてオリジナルQUOカードを進呈させていただきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社が取り組むSDGｓの17の目標を建物や車の色で表し、高速道路とその影が木の葉になることで環境への取り組みを表しました。

保有株式数	保有年数	内　容
100株以上	1年未満	オリジナルQUOカード　500円分
	1年以上	オリジナルQUOカード　1,000円分
1,000株以上	1年未満	オリジナルQUOカード　1,500円分
	1年以上	オリジナルQUOカード　3,000円分

対象株主	毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様
進呈の時期	毎年12月に株主通信（FPS REPORT）と併せて発送いたします。

※保有年数の考え方：3月末日及び9月末日の株主名簿に連続して記録される同一の株主番号の回数を基準といたします。
1年以上 … 連続3回以上の記録、1年未満 … 2回以下の記録

株式概要（2020年9月30日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	53,000,000株
発行済株式の総数	18,602,244株
株主数	8,022名

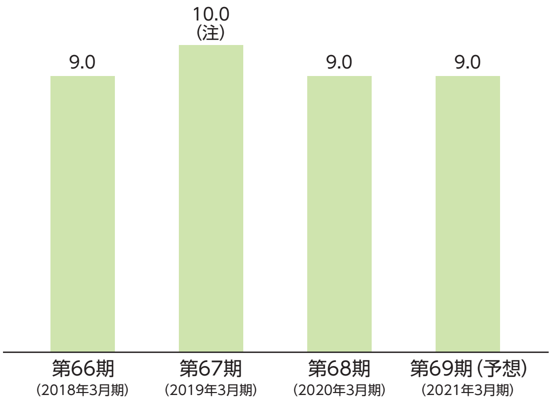
大株主

株主名	持株数	持株比率
太平洋セメント株式会社	3,221千株	18.04%
住友電気工業株式会社	2,383千株	13.35%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口）	2,309千株	12.94%
西日本鉄道株式会社	773千株	4.33%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託神鋼鋼線工業口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	722千株	4.04%
日鉄ＳＧワイヤ株式会社	423千株	2.36%
株式会社渡辺藤吉本店	267千株	1.49%
株式会社福岡銀行	261千株	1.46%
株式会社西日本シティ銀行	252千株	1.41%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	244千株	1.37%

(注) 1. 当社は、自己株式を753千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。自己株式には、役員向け株式交付信託による保有株式116千株は含んでおりません。

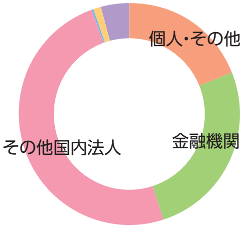
配当金の推移

（単位：円）



（注）東証一部指定記念配当1円を含んでおります。

所有者別株式分布の状況



個人・その他	19.12%
金融機関	25.92%
その他国内法人	49.63%
外国人	0.23%
証券会社	1.05%
自己名義株式	4.05%

当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

https://www.fujips.co.jp/

富士ピー・エス　検索

会社概要（2020年9月30日現在）

会社の概況

商号	株式会社　富士ピー・エス （英訳名　FUJI P.S CORPORATION）
設立	1954年3月19日
資本金	23億7,927万円
従業員数	436名
事業内容	特定建設業（土木工事、建築工事） プレストレスト・コンクリート技術を用いた土木・建築事業の請負、企画、設計、施工監理並びにPC製品の設計、製造、販売 1. 土木事業 橋梁（道路・鉄道橋）工事、PCタンク工事、耐震補強工事、メンテナンス工事など 2. 建築事業 FC・FR板の製作・敷設指導、耐震補強工事、PCaPC建築工事、PCリング及びPC緊張工事 3. その他事業 PC軌道マクラギ、PC矢板、PC梁・柱などの製造、販売

主要事業所

本店	福岡市中央区薬院一丁目13番8号　九電不動産ビル 〒810－0022　TEL092(721)3471㈹
支店	東北支店、関東支店、名古屋支店、関西支店、広島支店、九州支店
工場	東北工場、いわき工場、関東工場、滋賀工場、三重工場、九州小竹工場
営業所	全国17カ所
連結子会社	株式会社　シーピーケイ (PCマクラギの製造、販売) 本　社：大阪市淀川区西中島七丁目16番76号 滋賀工場：滋賀県東近江市五個荘和田町123番地

※株式会社シーピーケイは2020年11月10日開催の取締役会で、2021年1月1日を効力発生日とし吸収合併することを決議いたしました。

役員

代表取締役会長	菅野昇孝
代表取締役社長	堤　忠彦
取締役執行役員副社長	田中恭哉
取締役常務執行役員	江里口俊郎
取締役常務執行役員	梅林洋彦
取締役常務執行役員	内野英宏
取締役	千田善晴
取締役	戸田康一郎
取締役	中村藤雄
取締役	新関輝夫
常勤監査役	船越光晴
常勤監査役	関　照夫
監査役	田嶋典明
上席執行役員	深谷浩史
上席執行役員	油田康生
上席執行役員	西山吉秀
上席執行役員	泉　隆士
執行役員	上田　修
執行役員	小宮久文
執行役員	古賀順一
執行役員	田中政章
執行役員	辻　裕治
執行役員	八木洋介

（注）1. 取締役 千田善晴、戸田康一郎、中村藤雄、新関輝夫の4氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 関照夫、田嶋典明の両氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、取締役 新関輝夫氏を東京証券取引所、福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

株式のご案内

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 証券会員制法人福岡証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載（電子公告）し、止むを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞にて公告する。 （https://www.fujips.co.jp/ir/notice/）
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	フリーダイヤル 0120－782－031
（インターネットホームページURL）	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

表紙・写真　九頭竜川橋床版取替工事（福井県福井市）

北陸自動車道の福井北IC～丸岡IC間に位置する九頭竜川橋は、橋梁の延命化及び車輌走行時の快適性向上を目的（高速道路リニューアルプロジェクト）として、PC床版への取り替えや橋の部分的な補修を行う工事です。
工事による通行への影響を軽減させるため、対面通行により片側ずつ床版を取り替えました。

（ご注意とお願い）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. ①単元未満株式（100株未満）及び②特別口座（三井住友信託銀行）で管理されている株式は市場で売却することができません。株主様の利便性を図るため次の事項をお勧めいたします。
   ①単元未満株式につきましては、買取・買増制度をご利用ください。
   ②特別口座（三井住友信託銀行）で管理されている株式につきましては、証券会社等で管理される口座管理機関への変更をお勧めいたします。
4. 単元未満株式の買取・買増につきましては、当社は手数料を無料としておりますので、株主様におかれましては、ご利用をお願い申し上げます。
5. ご不明な点がありましたら、上記株主名簿管理人または当社総務部（092–721–3471）にお問い合わせください。

人にあたたかい空間づくりをめざして

株式会社富士ピー・エス

URL https://www.fujips.co.jp/

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK